

<b>科目名</b>	<b>歴史 (主として世界史)</b>	科目コード 10050
------------	---------------------	----------------

<b>学科名・学年</b>	<b>機械工学科 1年</b>	<b>担当教官</b>	<b>中村 正臣</b>		
<b>単位数</b>	<b>2単位・必履修</b>	<b>開講期間</b>	<b>通年</b>	<b>時間数</b>	<b>60時間</b>
				<b>内訳<small>(時間)</small></b>	講義(52), その他(8)
<b>教科書</b>	高校世界史 B (実教出版社) 新詳世界史図説 (浜島書店)				
<b>補助教材</b>	プリント				
<b>参考書</b>	授業ごとに紹介する				

<b>A 科目の概要</b>	
世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら学習し、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	
<b>B 到達目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類が自然環境に適応しながら諸文明を築き上げ、より大きな地域社会を形成したことを理解する。</li> <li>・ユーラシアの内陸と海域のネットワークを背景に、交流が活発となり、新たな地域世界の形成と再編を促したことを把握する。</li> <li>・主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化と社会の変容が促されたことを理解する。</li> <li>・科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、現代世界が地球規模で一体化し、相互依存を強めたことを理解する。</li> </ul>	
<b>C 長岡高専の学習・教育目標との対応</b>	
<b>D 履修上の注意</b>	
広く世界の人々の生活や文化に親しみ、それぞれの考え方や生き方を理解し、尊重しあう態度が大切である。	
<b>E 評価方法</b>	
定期テスト、レポート、ノート、授業参加度	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	文明社会への道すじ	
2	古代オリエント世界	
3	地中海世界と西アジア(1)	
4	地中海世界と西アジア(2)	
5	南アジア世界と東南アジア(1)	
6	南アジア世界と東南アジア(2)	
7	中間試験	
8	東アジア世界と内陸アジア(1)	
9	東アジア世界と内陸アジア(2)	
10	イスラム世界の形成と展開(1)	
11	イスラム世界の形成と展開(2)	
12	ヨーロッパ世界の形成と発展(1)	
13	ヨーロッパ世界の形成と発展(2)	
14	東アジア世界の展開	
15	期末試験	
16	近代ヨーロッパの形成(1)	
17	近代ヨーロッパの形成(2)	
18	アジア諸国家の繁栄(1)	
19	アジア諸国家の繁栄(2)	
20	欧米近代社会の展開(1)	
21	欧米近代社会の展開(2)	
22	19世紀のアジア・アフリカ	
23	中間試験	
24	帝国主義の時代(1)	
25	帝国主義の時代(2)	
26	大戦間期と第二次世界大戦(1)	
27	大戦間期と第二次世界大戦(2)	
28	冷戦の時代(1)	
29	冷戦の時代(2)	
30	期末試験	